



# 東洋公衆衛生学院 同窓会 会報 第11号

〒151-0071 東京都渋谷区本町 6-21-7 東洋公衆衛生学院 同窓会 事務局,  
Tel 03-3376-8511 Fax 03-3376-4345 E-mail yama@toyo-college.ac.jp

## コンテンツ

- 1 令和3年度第1回役員会報告
- 2 同窓会総会
- 3 在校生の近況
- 4 国家試験の結果報告
- 5 同窓生からのメッセージ（連載）  
東洋公衆衛生学院と私

## 令和3年度第1回役員会報告

同窓会役員会は年3回、7月、10月、2月に実施をしていますが、本年度も新型コロナウイルス感染症拡大のためメール審議での会議となりました。

主な議題として委員会活動を活性化するための提案を提出し全会一致で承認をいたしました。また今年度の文化祭も中止が決定し卒業生講演も行われなくなりました。

今後も同窓会奨学金、卒業生支援活動、在校生支援活動など、かねてより懸案事項であった課題がありますので、コロナ対策を実施しつつ、同窓会活動が停滞することのないよう進めていく計画です。また、卒業生の皆様から同窓会に対するご意見を常にホームページ・メール・フェイスブックで募集していますので、是非ともご意見ご感想などをお聞かせ頂ければと思っております。

## 令和2年度同窓会総会

令和2年度東洋公衆衛生学院同窓会総会が令和3年4月3日（土）東洋公衆衛生学院にて開催されました。令和2年度活動報告等、令和3年度予算案について審議・承認をいただきました。学院を取り巻く環境は年々変化していますが、同窓会もまた在校生、卒業生と学院を繋ぐという役割を時代の変化とともに柔軟に対応していきたいと考えています。今後とも卒業生皆様方からのご支援をお願い申し上げます。

さて、未だ終息の見えない新型コロナウイルス感染症ですが、感染防止対策を実施した上で開催することが出来ました。

残念ながら、今年度も懇親会は中止となりましたが、皆様のご理解とご協力をいただき無事に総会を開催できましたことを改めて御礼申し上げます。



## 令和3年度新役員紹介

### 東洋公衆衛生学院同窓会 役員名簿

2021年（令和3年）4月1日～

| 役員     | 卒期            | 学科 | 役員     | 勤務先                |
|--------|---------------|----|--------|--------------------|
| 会長     | 1             | 放射 | 小野寺 浩幸 | 日本大学病院             |
| 副会長    | 14            | 臨床 | 片山 博徳  | 国際医療福祉大学           |
|        | 15            | 放射 | 清水 賢均  | 野村病院               |
| 事務局長   | 24            | 臨床 | 山口 聡   | 東洋公衆衛生学院           |
| 副事務局長  | 17            | 放射 | 新山 義彦  | 東洋公衆衛生学院           |
| 常任幹事   | 14            | 臨床 | 田村 順子  | 東京新宿メディカルセンター      |
|        | 18            | 臨床 | 園上 浩司  | 順天堂大学病院            |
|        | 20            | 臨床 | 青柳 ますみ | 東洋公衆衛生学院           |
|        | 50            | 臨床 | 辻内 卓矢  | 亀田総合病院             |
|        | 11            | 放射 | 遠藤 朝野  | 日本大学病院             |
|        | 24            | 放射 | 田中 宏和  | 東洋公衆衛生学院           |
|        | 24            | 放射 | 井伊 智大  | 自治医科大学附属さいたま医療センター |
|        | 33            | 放射 | 宮田 洋平  | 東京慈恵会医科大学附属病院      |
| 監事     | 3             | 放射 | 鶴見 利行  | 東洋公衆衛生学院           |
|        | 17            | 臨床 | 国仲 伸男  | がんセンター東病院          |
| 顧問     | 19            | 臨床 | 池内 広喜  | 秋田県総合保健事業団         |
|        | 2             | 臨床 | 椎津 稔   |                    |
| 委員会の設置 | 会報委員会         |    |        |                    |
|        | 会員名簿管理委員会     |    |        |                    |
|        | 奨学金事業委員会      |    |        |                    |
|        | 卒業生対象勉強会実行委員会 |    |        |                    |

## 在校生の近況

### ◆臨床検査技術学科からの近況報告

#### 1) 3年生（54期生）の様子

今年度はCOVID-19の影響で、臨地実習の受け入れが難しい施設もありましたが、多くの実習施設のご協力により、全員が4月より臨地実習開始となりました。終了は8月20日（金）となり、早めの終了の施設もありますが、医療人としての貴重な経験を積むことができたのではないかと思います。

コミュニケーション等で苦労した学生もいたようですが、少しでも成長して帰ってきてもらえたらと思います。例年行っている国家試験合宿は現在の所、PCR検査等を施行した上、実施予定でいます。

この研修から来春の国家試験合格に向け気持ちを切り替え、努力を積み重ねていって欲しいと思っています。

## 2) 2年生(55期生)の様子

入学時よりCOVID-19の影響で、さまざまな制約があった学年です。普段はマスクを外した顔を確認したことがほとんど無いため、たまに顔全体を見ることがあったときは、「あら?誰?」と思うことがあります。2年生は実習が多くを占めますが、暑い中実習室の換気を十分にし、講義も一部Online授業を取り入れた他は、対面授業がほとんどだったため、個々の感染対策もより強まり、昨年度よりは学習しやすかったのではないかと印象です。学生のワクチン接種も徐々に進んでおり、より医療に興味を持って励んで欲しいと思っています。

## 3) 1年生(56期生)の様子

昨年度に引き続きCOVID-19の影響で入学当初の新入生研修等は中止となりました。Online授業も一部取り入れましたが、昨年度の経験を活かし、感染対策を徹底し、ほとんどが対面授業となりました。入学時よりマスクをしているため、一人一人の顔全体が確認できないのが難点ですが、学生とのコミュニケーションは昨年度より良好であったと思っています。しかし、学力面の低下は年々進んでいる印象です。補講や課題等を充実させ対応に努めています。

### ◆診療放射線技術学科からの近況報告

コロナウイルスとの共同生活も1年が過ぎ、学校での過ごし方にも変化が見られるようになった。教務課には教員の机の間に、教室では学生の机の前に衝立が設置され、圧迫感を極めている。

この衝立が中々に厄介である。透明なのはよいのだが、ものすごく反射する。遠くの学生は居るのか居ないのかさえ把握できない。授業開始時に、空席かと思いきや欠席扱いにして、授業終わりに存在に気付く。「いつ来たの?」「最初からいましたけど・・・」このやり取りを数回やった。

今年はオンライン授業に取り組み、登校が再開されても今までとは勝手が違う。自宅隔離者用に授業の録画は常になった。学生も復習ができて良いという。

## 国家試験の結果

### 臨床検査技術学科

令和3年2月17日(水)に第67回臨床検査技師国家試験が大正大学にて実施されました。臨床検査技術学科は新卒受験生33名で、全員合格の結果をいただき、合格率100%となりました。当学科は教室数が少なく、COVID-19の影響で密を防ぐため、勉強場所も確保できない中、学内の廊下や階段の踊り場などを利用して勉強に励む学生の姿を見て、とてもたくましく感じました。学生の要求通り、廊下の端に即時に机や蛍光灯を設置してくださった事務方には感謝しています。

本学：33人中33人合格 合格率 100 %  
全国：5,115人中4,101人合格 合格率 80.2 %

『勉強は集中あるのみ!』『今までやったことが無いぐらいの最大限の努力を!』よい環境を与えるだけがよい結果を生むわけでは無いと言うことを認識させてくれた学年でした。新医療人として大きく羽ばたいて欲しいと思っています。

### — 年度別推移 —



### 診療放射線技術学科

合格率は58.7%(全国82.1%)に留まる。新卒者63名が国家試験に臨み、合格者は37名。6名があと数点のところまで悔し涙を流した。

|      | 2017  | 2018  | 2019  | 2020  | 2021  |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 専門学校 | 94.5% | 79.3% | 83.5% | 88.3% | 75.3% |
| 大学   | 96.8% | 87.2% | 91.9% | 93.7% | 84.4% |
| 総合   | 96.0% | 84.8% | 89.4% | 92.2% | 82.1% |
| 本校   | 97.3% | 89.7% | 83.6% | 98.3% | 58.7% |

合格率不振に喘いだ理由はオンライン授業の管理と国家試験集中勉強会が開催できなかったことと推察する。

不合格者に話を聞くと、高確率で授業を聞いていなかったことが分かった。授業ログイン2分後には集団でゲームにログインしていたり、耳で授業を聞いているつもりでも目と意識はスマホの動画に向かっていたりなど、こちらが管理できていなかった。

集中勉強会は保護者から「登校させたくない」「コロナなのに登校するのか」という問い合わせのため断念した。国家試験側の対応も「試験当日にコロナウイルスに感染していたら、来年また受けろ」というものだった。学校でクラスターが起り受験不可になるような状況はなんとしても避けたかった。強行して開催していればと後悔が残る。

この結果や昨年の学生の取り組み方は、今年の3年生に正直に伝えてある。それを踏まえて、一緒に頑張っていかなければならない。

## 同窓生からのメッセージ

### 『東洋公衆衛生学院と私』

#### 24期 臨床検査技術学科 熊谷 豊

長野の山奥で育った私には、東京都渋谷区にある学校というだけでワクワクし、進学を即決したことを思い出します。渋谷区民となった初めての独り暮らし、6畳風呂なしトイレ共同の下宿生活でも、楽しくて仕方ありませんでした。携帯電話もまだまだ普及していない中、新宿、渋谷と買いものに出かけ、リーバイス501を初めて購入し都会かぶれしてみたり、同級生と麻雀やパチンコにはまってみたり、お酒も飲めないのに終電まで歌舞伎町で飲んでみたり、楽しかった思い出がよみがえります。そんな私なので、学業はもちろん優等生ではなく、期末テストで赤点を取り、進級のために必死に徹夜したこともありました。当時の先生方には、大変お世話になったことは言うまでもありません。

何とか卒業でき、国立病院に就職しました。当時、就職した施設に副技師長として、前同窓会会長の椎津先生がいらっしやり、拾っていただいたといっても、過言はありません。ご恩を返せないでいることを、大変申し訳なく思っております。

卒業してから約30年が過ぎようとしています。仕事をしていると、息詰まる事や辛いこともありましたが、同級生も頑張っていると思い、何とか頑張ってきました。心の支えになっていたことは、間違いありません。コロナ禍の中、皆で集まって当時を楽しく思い出すことは難しい状況ですが、きっと元気でいてくれることでしょう。3年間という濃密な時間の中、厳しくも楽しい生活を送れたことは、僕の宝となっています。

## 『この素晴らしい東洋公衆衛生学院と神奈川県西部』

## 10期 診療放射線技術学科 宗像 達也

「宗像君、毎日観光地から学校に来ているんだね。」  
東洋公衆衛生学院に入学して、神奈川県小田原市から通学していた私は、よく仲間内から揶揄されたものである。しかしながら全く不快感はなかった。その理由は三つあり、一つ目は、とても仲の良いクラスメイトに出会って毎日がキラキラと輝いていた事。続いて二つ目は、診療放射線技術学科の教務の先生方が、厳しいなかにも愛情をもって指導して下さったお陰である事。とりわけ西山先生、西澤先生、ご存命でした頃の木村先生には、学習指導のみならず、親身になって接していただき、また、「患者さんには、家族だと思って愛情をもって接しなさい。」とのお言葉も頂きまして、この言葉が現在も業務を行う根幹となっている。三つ目は、育った環境の神奈川県西部を誇りに思っている事である。

そして卒業し、病院実習にてお世話になった小田原市立病院に就職した私も、技師歴30目となり、その間には神奈川県西部地域2市8町に籍を置く「西湘放射線技師会」の会長を6年間務める機会もあった。そして現在、卒業生の長岡敏君（14期）、名塚康弘君（16期）、富田興次郎君（29期）、原田君誠也君（37期）も役員として尽力頂いている当技師会の紹介をさせていただく。

西湘放射線技師会の活動範囲はほぼ足柄平野と同等である。この平野は神奈川県西部、酒匂川の扇状地形沖積平野であり、酒匂平野、小田原平野ともいう。当技師会の東には松田国府津断層崖があり、ここも小扇状地形をなし、梅の栽培が盛んである。西は観光や温泉で有名な箱根外輪山、南は海産物の豊かな相模湾、北はトレッキングで有名な丹沢山地の西部に面する。中央部を南下する酒匂川は富士火山と丹沢山地からの流出土砂を運び込んで扇状地平野をつくり、肥沃な土地を形成している。そのため伏流水が豊富であるため、私たちの職種に身近である医療品やフィルム、生活にも欠かせない飲料水など地下水を利用する工場の立ち並ぶ地域でもある。

この様に地域と人に恵まれた環境であるため、会員相互の協力を得て活発な技師会運営を行い、現在、正会員数100名、賛助会員24社と1名在籍している。現在コロナ禍により多くの活動は自粛されているが、当時の年間活動としては賀詞交歓会にはじまり、夏季レクリエーション、勉強会、研究会、渉外の活動を行い、特に3点の項目について重点的に取り組みを行っている。まず1点目はホームページによる会員への情報伝達の迅速化を図った。2点目は編集強化により多くの会員からの情報発信が出来る様、枠組みを設けた。3点目は渉外活動の強化により、地域市民の活動の場へ積極的に参加を行ったことだ。がん検診の啓蒙活動や簡易骨密度測定等を通して、地域医療の貢献を担っている。

これらの活動や経験を通して、人と人の繋がりの大切さを身に染みて感じることが出来た。私たち診療放射線技師は職務で社会に貢献しているが、日常生活では、地域の自治会や教育関係の方々、多くの市民の方々にお世話になっているのも現状である。今後も感謝の心を忘れず、「All for One. One for All. ～みんなは一人のために 一人はみんなのために～」という気持ちを大切にしていきたい

と思っている。

このように地域社会との連携を深め、安心して生活できる環境づくりを行う必要性がある。COVIDの蔓延により従来の医療活動が困難に見舞われているが、私たち診療放射線技師も社会のニーズに応え、放射線に関する知識を発揮し、皆で協力し合い新しい形態を模索し蔓延防止に努めながら、これからも社会に貢献していくべきであると考え

る。  
最期に、東洋公衆衛生学院の益々のご発展と、卒業生、教務の先生方、在校生のご健康とご多幸を、神奈川県西部より祈念して居ります。

## 【編集後記】

2021年2月から医療従事者を対象とした先行接種が始まり、順次高齢者とワクチン接種が進んで、これで集団免疫が得られ、終息していくのかと期待していたのですが、思うように進まず、デルタ株の蔓延により感染拡大が止まらない状況が続いています。現在、医療の逼迫も目に見えてわかるようになってきて、われわれ医療従事者も何とか踏ん張っている状況です。本校卒業生も各医療現場で日夜頑張っていることと思います。本誌をお借りしてエールを送りたいと思います。

さて、会報11号をお届けします。今年度も入学式が行われず記事にすることができなかったのですが、新入生の新鮮な気持ちは変わらないと思います。授業は感染対策に配慮した形態だったようですが、今後職域接種が再開し、また普段通り授業が行えることを願っております。

卒業生、先輩方はいかがお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルス感染症の終息がなかなか見えないなか、在学生も教員も難しい局面の中、奮闘しております。どうかご支援のほどよろしくお願いいたします。

編集委員長 国仲

## 同窓生からの原稿を募集します！

## 同窓会会報を同窓生のコミュニティの場にしませんか？

卒業生の活躍を掲載したいと思います。  
広く原稿を募集していますので、下記メールアドレスまで  
投稿して下さい。

facebook でも情報発信中

ホームページ @toyoCollegeAlumni

いますぐホームページを  
チェックして下さい。



東洋公衆衛生学院 同窓会事務局

151-0071

東京都渋谷区本町6-21-7

電話番号 :03-3376-8511

FAX 番号 :03-3376-4345

メールアドレス: yama@toyo-college.ac.jp

